

じんだい

第41号

2015.7.10

発行：医療法人社団 欣助会 吉祥寺病院



調布市深大寺北町4-17-1 ☎042-482-9151
URL www.kichijoji-hospital.com

基本理念

患者様やご家族の側に立った医療
患者様の社会復帰を目指す医療
全職員相互の力を発揮できる医療



院内 季節の彩り

contents

私が精神科を選んだ理由.....	1
吉祥寺病院入職にあたって.....	2
吉祥寺病院に入職して.....	3
委員会紹介 医療安全推進委員会.....	4
新人コーナー／平成 27 年度 吉祥寺病院活動予定	5
当院のおすすめメニュー.....	8
外来担当表／当院略図／編集後記.....	9

私が精神科を選んだ理由

医師 周東 麻衣子

今年の1月より勤務させていただいております、周東麻衣子と申します。誠に恐縮ではございますが、今回こちらの広報誌へ執筆依頼をいただきました。駄文ではございますが、最後までお付き合いいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今回与えられたテーマとして、「私が精神科を選んだ理由」「精神科医として目指すもの」「いま思っていること」について執筆をとのことだったのですが、精神科の経験が浅い身としては、精神科について語るなど誠に恐縮であり、「私が精神科を選んだ理由」についてお話させてもらえればと思います。

私が精神科を選んだ経緯は、中学校の時に参加したボランティアにまで遡ります。親しい知人のお子さんに知的障害があり、養護学校に通っていたのですが、その方の紹介でそちらの養護学校でのボランティアを勧められたのがきっかけでした。

ひと夏だけのボランティアのつもりだったのですが、子供達の可愛さに魅了されたことと、年を重ねるにつれ、この子たちの成長を見守っていきたく強く思うようになり、結局大学1年生になるまでの計7年間、ボランティアに参加させていただきました。

7年ボランティアを続け私が強く感じたこと、それは、知的障害、精神障害（今では「障害」ではなく、「障がい」と改められました。以下、障がいとお書きいたします）のある、いわゆる「ハンディキャップ」のある方たちの無限の可能性でした。

障がいのある方たちを「かわいそうだ、気の毒だ」、場合によっては「不幸せだ」と同情される方が多いようです。障がいは確かに不便です。しかし、そういったいわば「身体的、もしくは精神的特徴」を持った方たちが社会に出て、不都合が生じたときにそれが初めて「障害」となるわけです。それならば、そういった特徴を持った方たちを「障害者」にしてしまう我々、社会が変わっていくべきなのではないでしょうか。

10年ほど前と比べれば状況はかなり変化しており、「バリアフリー」が提唱、実現される世の中へと変わってきましたが、残念ながら、障がいを抱えて生きる方たちへの偏見、差別は今でも根強くあります。私は医療者という立場から、そういった偏見、差別を少しずつでも取り除いてゆき、もし彼らがよければ、障がいのある方たちの人生に寄り添っていきたく強く思い、精神科の道を選びました。

障がいのある方たちに、我々と同じくらい、いや、それ以上に豊かで、幸せな人生を。

この初心を忘れずに、吉祥寺病院で日々の診療に邁進していこうと思います。若輩者ではございますが、今後ともよろしくお願いいたします。



吉祥寺病院入職にあたって

医師 西山 晃好

4月の入職から、あっという間に2ヶ月以上が過ぎました。精神科医療へは中途参入組ですが、それでも参入後10年以上が経過しました。ここで昔のエピソードを2つ振り返り、今後の自分の診療を方向づけてみたいと思います。個別のエピソードでも人そのものを理解するヒントになります。広報でこうしたエピソードを公開することは、専門職である多くの職員に私というものを見透かされてしまう不安もありますが、2ヶ月の勤務の中で自分がある程度さらけ出してもよいと防衛も緩んできているようです。

今の私からは想像もできませんが、遠い昔の中学・高校時代には野球部に所属していました。中学新入部員には朝練のため道具を持ち帰るという役割がありました。最も嫌がられた道具は泥だらけで重い（抱えて歩くしかない）1塁ベースだったのです。各自持ち帰るものを選択し、物が絞られていく中で、私が1塁ベースを選択しました。その行動は後日意図せず上級生から賞賛を得ました。

次のエピソードです。22歳頃工学部学生として京都で実験研究をしていた時、圧力計の水銀を手順ミスでポンプに吸い込んでしまいました。研究者としての資質が問われる痛恨の大失敗です。水銀は有害物質であるため、できるだけ回収し廃棄も厳密にしなければなりません。私はアルバイトの時間が迫っていたため簡単な報告の後にバイトに行ったのです。指導教官は私が行った後で、一人時間をかけて水銀の処理を丹念にやり、私の責任感が欠如した行動に対しては翌日口頭で一度注意をただけでした。

この二つのエピソードには、私の葛藤の処理の仕方が如実に表れています。軽重はありますが私たちの生活は葛藤の連続です。はじめのエピソードは、ちょうど吉祥寺病院に入職した今の状況に当てはまるという対比も成り立ちます。上級生から賞賛を得たいために1塁ベースを持ち帰ったわけではなく、誰かが持ち帰らないといけないのであれば、押し付けあうよりも自分がやろうと考えてのことですが、負の側面も見られます。わかりづらいかもかもしれませんが、そこには衝突・交渉回避的な心性があります。このエピソードには葛藤回避的に自分が未成熟に泥を被ることへの警告があります。吉祥寺病院の皆様と2カ月間共に働かせていただいて、自分のこの困った側面をより成熟した泥のかぶり方というものに昇華させることができていると感じています。チームの中で議論を避けることなく、自己本位になることなく、互いを尊重し相乗効果を上げていくことが出来ると思っています。2つ目のエピソードは、悪性の甘え、責任軽視・否認、主体性の放棄などなど、若い時のエピソードとはいえ、型すら成っていない極めて恥ずかしいものです。何より自分に責任がある場面で泥を被ることを回避したのです。このエピソードは困難な葛藤処理をする時の自分への戒めとなっています。

皆様と共に患者さん・ご家族・地域の信頼を勝ち得る吉祥寺病院のスタッフの一員になれるようにまずは自分自身の足元をしっかりと固めていきたいと気持ちを新たにしています。

こういう不束者ですが、どうかよろしく願いいたします。

吉祥寺病院に入職して

医師 松井 健太郎

4月より精神科医として吉祥寺病院にて勤務させていただくこととなりました、松井健太郎と申します。

精神科領域を専門と決めたまっかけを振り返りますと、そもそも学生時代は精神科医になろうとはカケラも思っておりませんでしたので、研修医時代の経験が大きかったように存じます。僕の初期研修先は横浜の中規模の総合病院で、精神科の研修は外病院に出ることが決まっており、僕は研修医2年目の10月から1ヶ月間、横浜市内のとある精神科単科病院で研修させていただくこととなりました。入院患者さんは統合失調症の方が中心でしたが、吉祥寺病院とは異なり、数年～長い人に至っては数十年入院している、慢性期の方が多いい病院でした。10人ほどの患者の担当となりましたが、病状が大きく動く人は少なく、のんびりと仕事の出来る環境でした。毎日のように急に握手を求め、脈絡なく「がんばろう」と言ってくる女性の方や、「私は満州軍の元帥だ、この病院は米国軍に囲まれている、私には宇宙の言語『アルタイ語』が聞こえる」とぼそぼそと語る高齢男性の方などが、当時の僕にとってはとにかく新鮮で、失礼かもしれませんが、面白がってカルテに一生懸命記載しておりました。それを見た院長が「松井くんは精神科向いていると思う」と言い、周囲の先生方もヨイショしまくった結果、僕は天狗になり「俺めっちゃ向いてるんじゃね?」、翌11月には決まっていた就職先を蹴り、最終的に女子医大の精神科に入局することとなりました。

このような経緯を背景に、女子医大からの出向というかたちで、こちらの吉祥寺病院に勤務させていただくこととなった次第です。

入職前より、忙しいし、回転もすごく早いよ、という話は、前任の村岡先生をはじめ、河野先生、長谷川先生といった先輩方からも伺っておりました。実際入職して思うのは、第一に、全くもって言われた通りだな、ということ。もう一つ、なによりスタッフの皆さんのアクティブさに大変驚いております。カンファレンスともなればたくさんの意見が飛び出しますし、また何か決まったことがあれば、キラキラとした目をして取り組んでいただけます。僕も医師として、指示を出さねばならない立場ではありますが、その全体の流れを汲んで、患者さんも含めて、皆さんがWin-Winとなれるように、潤滑油的な役割を担っていけたらと考えております。

至らぬところも多々あるかと存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



各委員会より

医療安全推進委員会

看護部 山本 昌彦

写真は平成26年度の医療安全必須研修「医療安全のQ」の様子です。この研修は医療安全推進委員会から案が出され、企画、運営も委員会が担当した研修でした。

さて、ご挨拶が遅れましたが、吉祥寺病院のみなさんには日頃の安全への取組にご尽力いただき、ありがとうございます。

今回は医療安全推進委員会（以下安全推進委員会）について紹介させていただきます。

安全推進委員会は毎月開催され、出席者15名、1時間30分という、ちょっと大所帯な委員会です。大きくなったのは服薬検討委員会と事故分析グループが統合されたという背景があります。

この委員会で行われているのはインシデント・アクシデントレポートの共有と検討、意見交換、安全に関する活動の報告やアナウンスが主な内容です。重大な事例、警鐘事例では該当部署の委員から状況報告されるケースも増えており、これに対して他の委員から自分の部署ではどのように工夫しているかのフィードバックを得られることもあり、出来事の共有と再発を防ぐための検討が徐々に充実してきています。どんな状況で何が起きたのかを共有できることに大きな意義がありますが、もちろんその場で解決できないこともたくさんあり、そんな時は検討課題として持ち帰り、医局、病棟、師長会、安全対策室などの部署や他の会議でも検討しています。

今までに部署からの発案で改善されたこともあります。外出ノートをカード形式に変更してボードに掲示することで外出の状況を可視化、遅れや異変に迅速に気づけるようにした取組もその一つです。

医療安全に関する委員会はこの安全推進委員会だけではありません。安全対策室という部門もあ

り、これは推進委員会が実行部隊であるのに対し、情報収集と集計、企画や広報、外部との連携という役割を担っています。そしてさらにグループでの活動もあり、現在は緊急コール訓練、安全ラウンドが毎月活動しており、時期によって院内研修のグループが結成されます。外部との連携では年に3回、保健所で開催される医療安全推進担当者連絡会に対策室から2～3名で参加し、安全に関する講習を受けたり、地域の病院間で情報交換を行っています。

足早にたくさん紹介してきましたが、医療安全の取組みは一部の部署や職種だけで頑張ってもうまくいかないのは御存知の通りで、組織横断的な取組みといいますが、部署間の協力がなければ成果を得られないことがたくさんあります。これからも安全のための情報や知識と技術の浸透に委員会活動が中心的役割を担って行きますのでこれまでと同様の、みなさんのご協力をお願いいたします。



KS (B2病棟 看護師)

- ①岩手県下閉伊郡山田の山と海と田んぼのはざま
- ②キレイで明るい!
- ③8020! (生まれてこの方虫歯はありません。脂肪はあります。)
- ④ダーツ。アニメのロケ地めぐり (聖蹟桜ヶ丘の図書館までの坂を自転車で下りたいです)

KN (B1病棟 看護師)

- ①新潟県新発田市
- ②患者さんも看護師も生き生きとしており、明るく温かい雰囲気だと感じました
- ③自分らしく、マイペースに過ごし、健康的な笑顔でいることです。
- ④美味しいものをたくさん食べて、少林寺拳法の修練で汗を流し、図鑑を読んだりしている時が一番幸せです。

**新人
コーナー**

- ①出身地
- ②吉祥寺病院の第一印象
- ③私のモットー
- ④最近ハマっていること

YS (A2病棟 看護師)

- ①沖縄県
- ②個性派揃い
- ③清廉潔白
- ④自然の中でのテント泊。マッサージ

TY (B3病棟 看護師)

- ①新潟県
- ②職員の仲がいい
- ③元気に明るく、ポジティブ。
- ④アイドルのコンサートに行くこと



SK (B3病棟 看護師)

- ①九州の大分県
- ②綺麗でゆったりとした時間の流れる場所
- ③反省はしても後悔はしない
- ④野球と、まどか☆マジカ (アニメ)

HT (薬剤科 薬剤師)

- ①東京都世田谷区
- ②お花がたくさんある! (桜・中庭の花壇・フロアの生花)
- ③「週末は楽しくお酒を飲む」
- ④フルグラにコーヒーや紅茶をかけて食べる

**新人
コーナー**

- ①出身地
- ②吉祥寺病院の第一印象
- ③私のモットー
- ④最近ハマっていること

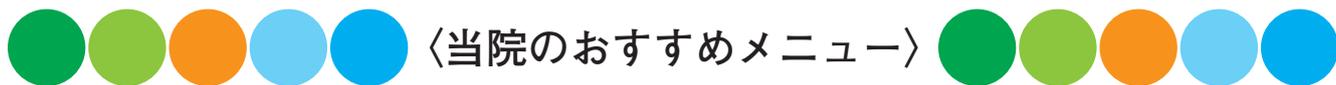


SA (医療相談室 PSW)

- ①北海道
- ②明るく、温かい雰囲気 of 病院
- ③人に優しく、自分に厳しく
- ④岩盤浴・美味しいお酒を飲むこと

HT (B2病棟 看護師)

- ①新潟県
- ②明るくて気持ちいい病院
- ③明るく楽しく
- ④昆虫採集、陶芸教室



〈当院のおすすめメニュー〉

枝豆とベーコンのサラダ



～1人分栄養成分～
 エネルギー 134kcal
 塩分 0.4g

材料 (2人分)

枝豆 (剥いたもの) 60g
 (1/2カップ)

ベーコン 1枚
 玉ねぎ 1/4個
 レタス 大3枚

酢 大さじ1
 油 大さじ1
 砂糖 小さじ1/3
 塩 少々
 こしょう 少々

- 作り方●**
- ①ドレッシングをつくる
 酢に油以外の調味料を混ぜ油を少しずつ入れて、よく混ぜる
 - ②ベーコンを細切りし、熱したフライパンで乾煎りする→冷ましておく
 - ③玉ねぎは薄切りに、レタスはざく切りしておく
 - ④枝豆、玉ねぎ、レタス、冷ましたベーコンを①で作ったドレッシングで和える

知っていただきませんか？

枝豆と大豆の関係

枝豆は、大豆をまだ熟していない若いうちに収穫したものです。栄養価は大豆より低くなりますが、大豆は水分が多く含まれていないので、たんぱく質やビタミンが多く含まれていき、肝機能を高める作用や塩分を排出する作用が多く含まれている特徴があります。

外 来 担 当 表

	月	火	水	木	金	土
診察室(1)	原藤	院長	原藤	小木	原藤	原藤 / 水落
診察室(2)	市川	市川	岡田	市川	市川	亀山
診察室(3)	田澤	西岡	西岡	田澤	西岡	西岡
診察室(4)	森 / 森 (栄)	岡田 / 齊藤	森 / 森 (栄)	齊藤 / 河野	森	森
診察室(5)	齊藤 / 周東	山室 / 松井	山室 / 村尾	鶴殿 / 山室	周東 / 河野	松井 / 山室
診察室(6)	土井	土井	西山	セカンドオピニオン 土井	岡田 / 土井	西山

— 受付時間 —

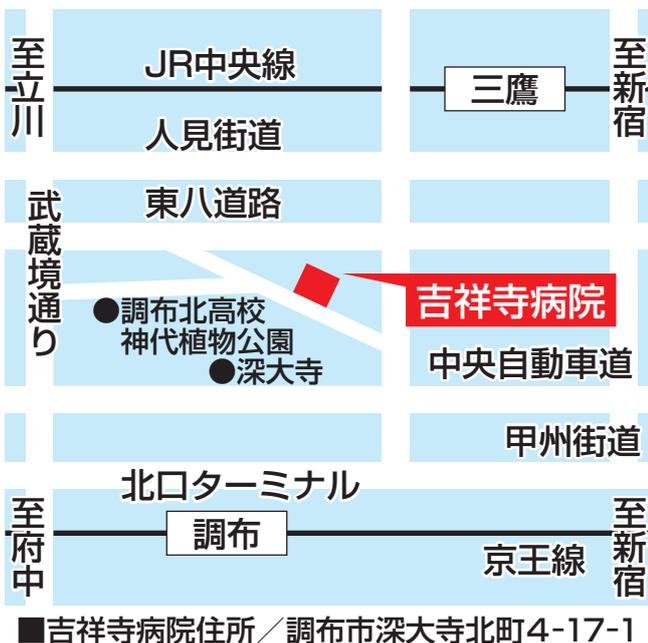
月 - 金

午前 9時～11時 (初診・再診)

午後 1時～3時 (初診)

土

午前 9時～11時



〈編集後記〉

先日、風邪をひいてしまいました。昨年は日本でもデング熱が流行り、現在、韓国ではMERSが流行っているようです。夏も感染症に気を付けたい季節だと思いました。皆様も、お身体ご自愛ください。

(T.O)

最近、気になっていることは、やはり自然の驚異でしょうか。最近だと、あちらこちらで火山活動が活発になったり、地震も頻繁にあったり、夏になるとゲリラ豪雨が突発的に起きたり…自然災害というものは、どうこう出来るものではないですが、正直、とても心配なところだったりします。実は、先日、我が家の防災の備蓄食料などの入れ替えをしました。こうしたモノが本領を発揮するような事態がないことをただただ祈るばかりです。

(T.M)